

寝たきりから在宅復帰へ！

老人保健施設コミュニティホーム白石が行う在宅復帰までの道のり③

事例の紹介

92歳 男性／要介護1 娘様と2人で生活

病歴：脳梗塞後遺症、糖尿病、前立腺がん、慢性動脈閉塞症

H29年10月、入院中寝たきりになり動けなくなる。ご本人は「帰りたい。いつ帰れるのか・・・」と退院を希望。娘様としては入院前の状態に戻らなければ自宅での介護は難しいとの事で老健コミュニティホーム白石への入所を希望。在宅復帰に向けリハビリをスタートしました。在宅復帰までの間、インシュリンの手技、血糖の管理など病態の課題も出てきました。

ポイント！

①即日リハビリ開始！
まずはリハビリ評価から！

リハビリ評価を行い身体機能の確認を行います

12月〇日 病院より入所

★入所当日より短期集中リハビリ開始（20分／週5日）

●ベッドでの生活が長く寝たきり状態。ベッド上にて座位の保持や手足を動かすリハビリから実施。

①寝たきり状態からリハビリ開始



1週間後 12月〇日

★リハビリ職員と家屋調査へ。

ご家族立会のもと動線の確認と階段の高さ・段数などを調査し、リハビリに生かします。

寝室から居間・トイレまでの移動方法、また動線や距離などが課題になりました。

施設に戻り家屋調査の報告会を行います。

各専門職で課題の共通認識を行います。①玄関前の階段昇降が出来るようになる事 ②居間・トイレまでの距離を1人で歩ける様になる事 を当面の目標へ！

②家屋調査

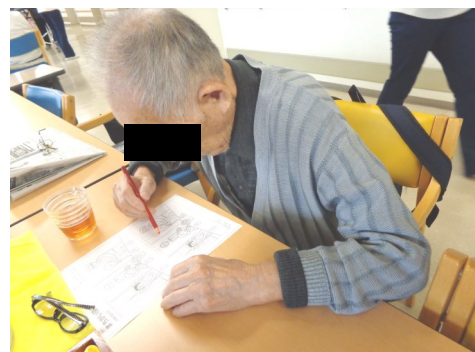
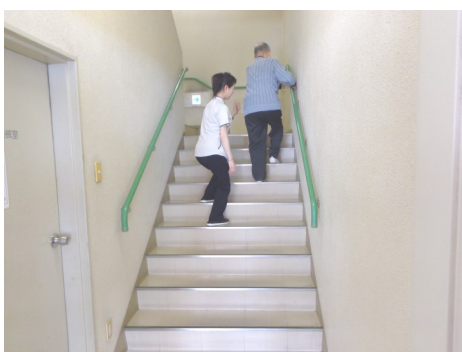


③リハビリ風景（移乗）



3～4か月後

④リハビリ風景（歩行練習・階段昇降・脳トレ）



在宅復帰おめでとうございます！

ポイント！

娘様、インシュリンの手技が不安との事で入所中に食事療法を行い、服薬のみで良い状態になってからの退所へと支援しました。

■ 3月 退所前訪問指導

施設ケアマネ、リハビリ職員と1度ご自宅へ戻り、動線の確認、食事のアドバイスをしました。以後、施設でも改めて似た環境でのケアを実施。当日はそのまま外泊を実施。外泊を重ねる事で在宅復帰への自信も深めて頂けるよう支援します。

■ 3月下旬 退所前カンファレンス

ご家族・居宅ケアマネを交え、退所後の注意点などを各専門職よりアドバイスさせていただきます。

■ 4月7日 老健退所（在宅復帰）＊約6ヶ月振りにご自宅に戻ることが出来ました。（その後、併設施設のデイケアを利用されリハビリを継続中です）



⑤退所後は併設のデイケア利用



毎週のデイケア利用にてリハビリの継続を実施中。

右の写真は入所中に仲良くなった友人と久しぶりの再開！

